

## 男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q 9 7 女子中高生等の理工系分野への進路選択の為に「夏のリコチャレ2022～理工系のお仕事体感しよう～」という取組みを教えてください。

A 9 7 内閣府・文部科学省・一般社団法人日本経済団体連合会（以下：経団連）は共催で、2022年7月より夏休み期間を利用して、女子中高生等の理工系分野への進路選択を応援するため、「夏のリコチャレ2022～理工系のお仕事体感しよう！～」を実施しました。これは、経団連加盟企業や大学等による主に女子中高生を対象とした理工系の職場見学、仕事体験、施設見学など多彩なイベントの情報を内閣府「理工チャレンジ(リコチャレ)」サイトを活用し、積極的に社会へ発信する取組です。

今年は92団体が参加しました。企業や学術団体等のイベントや、大学の実験教室、先輩学生との交流会等のイベントがオンラインと、全国各地で実施され、今年度は5千名以上（集計中）の女子小中高生、大学生、保護者等が参加しました。

### 1 理工系分野における女性活躍の現状

本格的な人口減少社会を迎える中、理工系分野における女性の活躍は、世界最先端の科学技術立国を目指す我が国が、持続的な成長を確保し、さらに、多様性によるイノベーションの創出によって社会の様々な問題解決を図る上で、極めて重要です。しかしながら、我が国における女性研究者

の割合は17.5%※1と、諸外国に比べて低い水準に留まっています。また、大学学部生における女性比率も、理学系で27.8%※2、工学系で15.7%※2と大きな偏りが見られます。

これに対し、内閣府の令和3年度調査では、女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因として、幼少期の科学館・博物館体験や大学や自治体のイベント等の理系的経験が多いこと。また、理工系分野に興味を持つきっかけとして、理系的経験が寄与している可能性があること。さらに、具体的な職業イメージなど進学の前にある進路について、幅広く情報提供を行うこと等が有効であるとの結果が得られました。この調査結果も踏まえ、内閣府では、理工系の職業や面白さに触れられる機会を提供することで、理工系進路選択や理工系職業に対する理解を促進し興味を喚起し、次代を担う理工系女性人材の育成を目指すこととしています。

※1 総務省「科学技術研究調査」（令和3年）参照

※2 文部科学省「令和3年度学校基本調査」参照

## 2 開催実績

■開催期間：2022年7月～9月

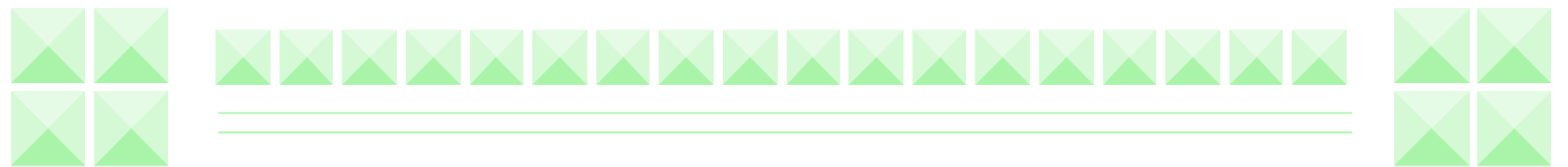
■実施団体数・イベント数・参加者数

合計：92団体、161イベント、5千名以上（集計中）

<実施団体内訳>

企業：45、大学等：21、

学術団体・その他：26



## ■主なイベント内容

### <企業>

- ・ 職場見学、工場見学
- ・ 職業体験、ワークショップ、実験
- ・ 先輩女性社員との交流 等

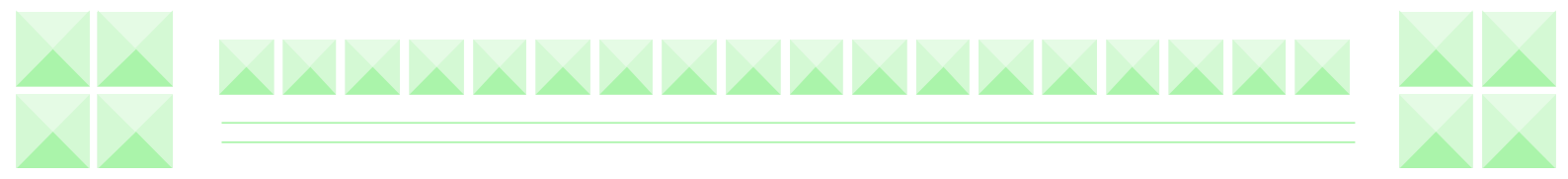
### <大学>

- ・ 実験教室
- ・ サマースクール、サイエンスキャンプ
- ・ シンポジウム、セミナー
- ・ 女子学生質問会、オープンキャンパス等

### <学術団体、その他>

- ・ 実験教室、体験学習
- ・ 1日インターンシップ
- ・ シンポジウム、交流会 等

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くのイベントがオンライン開催でしたが、今年度は実地でのイベントも多く実施され、オンラインと実地のハイブリッド開催の企画もありました。各団体がイベント形式に合わせた様々な工夫をされていました。



「理系の進路は研究職というイメージがあったが、幅広い進路の選択肢があるということを知ることができた。」

「まずは文系か理系かを決める助けが必要で今回のイベントに参加した、もともと理系に行こうかなと思っていたが数学が苦手で、学校の先生からも文系を勧められていたが、今回お話を聞いて自分のなりたいものを再確認することができ、理系に行きたいなと思った。」

「女性職員が働いている姿がすごくカッコよいと感じた。」

「大学について生の声を聞くことができ、今後の進路選択に活かせそうです。このようなどとも貴重な機会をいただけて本当によかったです！」

「進路の相談をしたとき、どの道を選んでも後悔しないからまだゆっくり考えたらいいと言ってもらい、今まで「これから先の進路で人生が決まる」と焦っていたが、もう少し気軽に考えてもいいのだなと思えた。」

「学校やネットで知れないことをたくさん知ることができたので良い機会になった。もっと多くの人に聞いて欲しいと思ったので、オンラインで同時に配信するともっと良いと思った。」

「大学の研究室の、特に理系の雰囲気を肌で感じることができ、大変有意義に過ごさせていただきました。娘は現在中学2年生ですが、数年後の高校生での文系理系選択までに、今回のサマースクールの様な経験をたくさんできればと考えております。今後とも、機会がありましたらどうぞよろしく願いいたします。」

5

夏のリコチャレ2022イベントの様子



未来ひろがる産総研ラボ（産業技術総合研究所）

資料出所 内閣府男女共同参画局 2022年10月号